



私たちの暮らしは生物多様性や生態系の恵みによって成り立っています。東・東南アジア地域は地球上で最も生物多様性の豊かな地域の一つとされています。しかし、生物多様性の保全や持続可能な利用のために必要な、これらの地域における生物多様性についての知識や情報の整備は未だ確立されていません。豊かな生物多様性を守るためには、より多くの生物情報と分類学の能力構築が必要とされています。

ESABII

東・東南アジア 生物多様性情報イニシアティブ

East and Southeast Asia Biodiversity Information Initiative



このような背景を受け、生物多様性条約 (Convention on Biological Diversity: CBD) の掲げる目標達成に貢献するために、東・東南アジア地域の14の国と、関連する機関によりESABIIが誕生しました。



Convention on
Biological Diversity



Ministry of the Environment



ESABII の最終目標

ESABII の最終目標は、東・東南アジア地域における生物多様性情報の整備と分類学の能力構築を通して、CBD の戦略計画の実施に貢献することです。

運営目標

1. ESABII 運営のための体制
2. 生物多様性情報の構築
3. 分類学能力育成

メンバー

国：ブルネイ、カンボジア、中国、インドネシア、日本、ラオス、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、フィリピン、韓国、シンガポール、タイ、ベトナム

組織：生物多様性事務局 (ex-officio)、地球規模生物多様性情報機構 (GBIF)、ASEAN 生物多様性センター (ACB)

ネットワーク：NaGISA(Natural Geography In Shore Areas)、アジア太平洋生物多様性観測ネットワーク (AP-BON)、BioNET-INTERNATIONAL

活動計画

2010～2011年のESABII作業計画では、ESABIIウェブサイトの作成、生物多様性情報の整備、分類学能力構築のための研修の実施を含む、3つの目標を実施が示されています。

ESABII とその他関連機関との関係

既存の生物多様性モニタリングプログラム

全地球観測システム*
GEO-BON*

国際長期生態学研究ネットワーク*
NaGISA(CoML), アジア水鳥センサス*

生物多様性条約 (CBD)

アジア太平洋生物多様性観測ネットワーク

地球規模生物多様性情報機構

世界分類イニシアティブ作業計画
(GTI Programme of Work)

生物多様性情報

- ニーズアセスメント
- 情報の加工
- 情報の提供

ESABII

分類学能力育成

- ニーズアセスメント
- 研修プログラム
- マニュアルの作成

- ・生物多様性条約、生物多様性国家戦略、その他の政策の実施
- ・生物多様性アセスメント
- ・法の執行

生物多様性保全における科学的基盤の強化
ポスト 2010 年目標の達成

2002年9月 第1世界分類学イニシアティブ アジア地域ワークショップ
マレーシア, プトラジャヤ

2009年1月 ESABII 国際シンポジウム, 専門家会合 東京
・ ESABII 戦略案の議論



2009年5月 GTI ASEAN+3 地域ワークショップ: ニーズアセスメントとネットワーク化
フィリピン, ロスバニョス
・ ASEAN 生物多様性センター主催
・ ESABII 戦略案の配布

2009年10月 ASEAN 生物多様性会合 シンガポール
・ ESABII サイドイベント開催
・ ESABII 戦略案の紹介



2009年12月 ESABII 政府間会合 東京
・ ESABII 戦略と作業計画の合意

2010年5月 SBSTTA 14 ケニア, ナイロビ
・ GTI 実施のための地域イニシアティブとして ESABII の紹介

2010年10月 第10回生物多様性条約締約国会議 (COP10) 名古屋

2010～2011年 第1期 ESABII 作業計画の実施



関連文書

■ 会議議事：第1回世界分類イニシアティブアジア地域ワークショップ
<http://www.nies.go.jp/kanko/kenkyu/pdf/r-175-2003.pdf>

■ ESABII 戦略 (2009年12月14日第1回メンバー会合で合意)
<http://www.esabii.org>

■ ASEAN+3 GTI ワークショップ (2009年5月) におけるニーズアセスメントの結果
http://www.aseanbiodiversity.org/index.php?option=com_docman&Itemid=179

情報技術やネットワークは生物多様性情報学において著しく進歩してきました。今では、ウェブを通じて、さまざまな生物多様性情報がグローバルレベルで利用可能です。しかしながら、アジア地域において、これらの情報は未だ限られ、散在しているとともに、コミュニケーション基盤が十分に確立されていません。それゆえ、政策立案者や意思決定者が必要な情報にアクセスすることは困難となっています。そこで、ESABII では利用可能な情報源からデータや情報を収集し、編集処理を行い、それらを保全政策に必要な生物多様性情報とし、政策立案者や意思決定者に提供します。

政策立案者 / 意思決定者のための生物多様性情報の開発



政策立案者 / 意思決定者への生物多様性情報の提供

生物多様性保全政策

世界レベル: 生物多様性条約、ワシントン条約、ラムサール条約、ボン条約 (移動性野生動物の種の保全に関する条約)
 国レベル: 生物多様性国家戦略、種の保存、法の執行

生物多様性条約ポスト2010年目標達成の評価

生物多様性国家戦略の実施

種と生態系の保全

世界には様々なデータベースがあります。しかし、必要とされているのは利用者にとって役に立つ地域レベルの情報です。生物多様性情報に基づく政策決定もまたアジア地域では求められています。ESABII はこのような地域レベルの生物多様性情報整備やその基盤の開発を支援しています。

- ESABII は既存の情報ネットワークや ACB の協力のもとで、地域レベルの生物多様性情報を発信するためのウェブサイトを構築します。
- ESABII 専門家グループは情報開発やその利用のための技術支援を行います。
- ESABII ウェブサイトでは学名、俗名、地理分布、生息数、絶滅の危険度、保全状態等を写真、地図、グラフと共に掲載します。

ESABII ウェブサイト <http://www.esabii.org/>

Kentish plover

Common Name	Kentish plover	BirdLife International
Species name	Charadrius alexandrinus	BirdLife International
Family	Charadriidae	BirdLife International
Genus	Charadrius	

Visual and sound images

Photos

Western Snowy Plover, bird on Morro Strand State Beach, Morro Bay, CA

[Wikipedia](#)

Description

Identification

[USGS](#)

Length: 5.25 inches. Small shorebird. Short, fairly thin. d. Black bar at side of breast. White forehead and supercilium gray upperparts. White underparts. Gray upperparts and Basic and juvenile plumages are similar to adult but black

Ecology

Behavior

[BirdLife International](#)

Although some populations of this species are sedentary coastal populations³ are fully migratory and have distinct breeding grounds chiefly from March to October³, dis southward migration peaking in September¹. The specie densities of 0.5 to 20 pairs per hectare (exceptionally up other species (e.g. Least Tern *Sterna antillarum*)¹². Outflocks of 20-30 individuals¹, 5, and occasionally in larger species flocks⁴.

Habitat

[World Bird Info](#)

Chiefly sea coasts, but also open flats near brackish or s depressions. Usually on sand, silt or dry mud with even su

Range

Figure-2: Occurrence overview of Kentish plover

[GBIF](#)

分類学と私たちの暮らし

分類学は生物学的な研究や生物多様性保全のみならず、林学、農業、漁業、バイオ産業など幅広い分野にも重要な役割を果たします。

世界分類イニシアティブ (GTI)

GTI は CBD の掲げる 3つの目標、①生物の多様性の保全、②生物多様性の構成要素の持続可能な利用、③遺伝資源の利用から生ずる利益の公正で衡平な配分、に焦点をあてています。GTI はまた分野別・分野横断型のプログラムの実施に必要な能力構築や、ツールの開発促進も重要視しています。GTI の作業計画は COP6 で採択され（決議VI/8）、その計画された活動の個別の達成目標は COP9 で作成され、採択されました（決議IX/22）。



分類学の暮らしへの貢献

GTI and ESABII

GTI 作業計画の関連部分

目標 1：条約履行のために、国家、地域および世界的レベルにおける分類学的ニーズおよび能力を評価する
活動計画 2：地域の分類学的ニーズアセスメントおよび優先順位の設定

目標 2：分類学的知識の基盤である生物標本を入手し、照会、管理するのに必要な人材、システム及びインフラストラクチャーの構築・維持を援助することに焦点をあてる。
活動計画 5：分類学情報へのアクセスおよびその生成を支援するための世界的および地域的能力構築

ESABII 活動 (ESABII 戦略より)

CBD 及びその他生物多様性の保全と持続可能な利用の政策の履行のための優先度を付した地域レベルの分類学ニーズ調査報告書 (成果 3-1)

GTI 地域計画としての東・東南アジアにおける分類学能力構築計画作成 (成果 3-2)

分類学能力構築プログラム：ESABII 専門家グループメンバーの支援による研修コースの実施 (成果 3-3)

分類学能力構築の成果物：(a) 分類学の人的資源に関する地域データベースの構築、(b) 種の同定のためのガイドブック (成果 3-4)

分類学にかかる人材確保と能力構築は生物多様性の保全と持続可能な利用のために不可欠です。ESABII は東・東南アジアにおける分類学の能力構築のために以下のような活動を支援しています。

- 専門家グループの支援のもと、分類学能力構築のための研修コースの実施
- 種同定ガイドブックのような分類学能力構築のための教材の作成と普及
- 分類学能力構築のための、人材、組織及び情報のネットワークの開発促進

分類学能力育成プログラム

ネットワークの構築

- －分類学の専門家・機関
- －情報の共有化と普及のためのネットワーク



(Nagao Natural Environment Foundation)

ツールの開発

－種同定ガイドブック



(Nagao Natural Environment Foundation)

能力育成

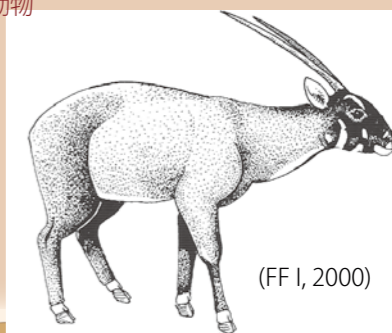
- －大学・研究機関での専門家研修
- －パラタクソノミストへの研修
- －法の執行のための研修（税関等）

アジアにおける新種の哺乳類

大型及び中型の哺乳類は動物のなかでは比較的良好に知られている分類群です。ラオスとベトナムの国境沿いに走るアンナン山脈では過去 20 年の間に新種の哺乳類が 5 種発見されました。この地域は更新世（洪積世）の生息環境が残る特有な地域であり、多くの固有種の生息地となっています。遺伝子研究は従来同種と考えられていたスマトラ島とボルネオ島のオランウータンが別種であることを明らかにしました。アジアの生物学者の貢献により、より多くの新種の同定が期待されています。

ベトナムレイヨウ *Pseudoryx nghetinhensis*

サオラとも呼ばれ、世界で最も珍しい哺乳類の一種。ベトナムとラオスでしか見られない森林に生息するウシ科の動物

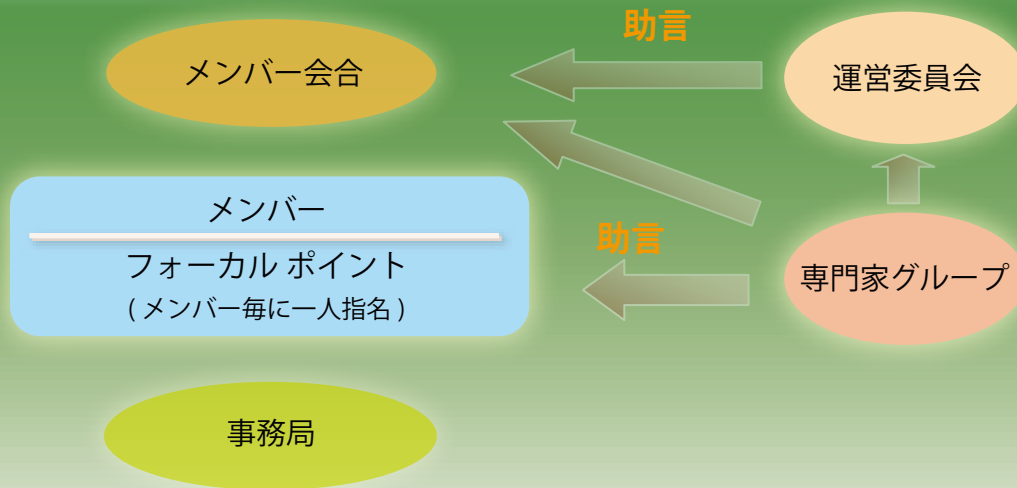


(FF I, 2000)

ESABII メンバー



ESABII 構成



編集・発行 **ESABII 事務局**

環境省 生物多様性センター
〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1
E-mail: webmaster@biodic.go.jp
電話: 0555-72-6031 Fax: 0555-72-6035

編集協力: (財) 自然環境研究センター

この冊子は再生紙を使用しています。